

平成28年度 横浜市踊場公園こどもログハウス維持管理計画概要書

指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会

項 目		内 容
1 施設の維持管理体制		(1) 館長 1人 東汲沢小学校コミュニティハウス館長と兼務 (2) スタッフ 10人 常時2人体制のローテーション
2 施設の維持管理に関する考え方	設備の保守管理	(1) 定期清掃 床清掃年12回、窓ガラス清掃、壁、天井等清掃 網戸清掃各年2回、換気扇清掃年4回 (2) 機械警備 常時 (3) 害虫駆除 全館クリーンアップ年2回 (4) 消火器点検 年1回 (5) 電気設備点検 年1回
	施設の清掃	幼児、こどもは裸足で遊ばせることから、2名のスタッフの清掃分担、手順を明確にし、隅々まで落ちのいない清掃を行うように努めています。 Aスタッフ 掃除機をかける。テーブルを拭く。床を拭く。 Bスタッフ エントランス・玄関を掃く・拭く、下駄箱とすのこを拭く、トイレ・流しの掃除、ベランダ掃除・モップがけ、花の水遣り等
	施設の点検	幼児、こどもの安全について管理の責任を持つという強い使命感を持って施設の点検を行っています。 午前3回、午後2回の見回りを実施し、施設、遊具の安全確保を図っています。
	植栽の維持管理等その他の維持	季節を感じ心豊かになるように出入口脇に花壇を設置している。花の種、球根は緑の協会『花やぐまち事業』から購入しています。夏の日差しを弱くするゴーヤカーテンを実施しています。 公園愛護会のじょうろを保管している。美化活動に協力できる時は、花壇の水遣りや広場の清掃も行うようにしています。
3 施設の安全管理に関する考え方		屋内施設であることから、人と人との接触事故が予想されます。2名のスタッフのうち1名はこどもの動きを常に見守る体制をとっています。また、利用するこどもが約束事や、遊具の使い方を理解するように図やイラストを使ったパンフレットを学校に配布したり掲示したりして事故防止に努めています。事故発生時、迅速に的確に行動できるよう定期的に訓練を実施しています。

※施設の維持管理の内容がわかる各保守管理等の仕様書等を添付してください。

事業計画書様式2-1

平成28年度 踊場公園こどもログハウス 指定管理者事業計画書			
団体名	公益社団法人とつか区民活動支援協会		
代表者名	理事長 原 一男	担当者	■■■■
団体所在地	横浜市戸塚区戸塚町127		
電話番号	865-3946	FAX番号	865-3949

1 平成28年度の管理運営に関する基本方針について

① 設置目的

こども達が身近なところで木のぬくもりを感じ、自由に集い遊ぶことのできる新たな魅力空間としての屋内施設を公園内に設置し、こども同士の心のふれあいや創造力、表現力の向上を図る場とすることを目的に設置された施設です。(公募要項から抜粋)

② 区政運営上の位置づけ

戸塚区は「こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか」を戸塚区運営方針の基本目標に掲げ、幾つかある施策の中でも「誰でも安心して暮らせるまちづくり」の施策では、子育て支援や子どもの居場所の充実に取り組むとしています。

踊場公園こどもログハウスでは・・

- ア 幼児やその保護者の遊びや交流の場
- イ 子ども達が遊びを通じて健全に成長する場
- ウ 児童・生徒の身近な放課後の居場所

であり、子育て支援や青少年の健全育成を担う地域の施設です。

当協会は、踊場公園こどもログハウスをこの「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を区や地域との協働により実践し具現化する場と位置づけています。

③ 管理運営方針

こどもログハウスは、上記の目的等を達成するために地方公共団体が設置した公の施設で以下の事項を基本として管理運営にあたります。なお、PDCAサイクルにより業務の見直し、改善に努めます。

- ア 遊具の安全点検や見守り、館内外の安全監視や日常清掃等により、常に安全かつ衛生的な施設環境を維持します。
- イ 緊急時や災害時は、利用者の安全確保及び応急処置等に万全を期すとともに、帰宅困難者等の一時滞在施設等の開設に協力します。
- ウ 個人情報の保護や人権の尊重に万全を期します。
- エ 施設の利用やサービスの提供にあたっては、平等・公平・公正に取り扱います。
- オ ニーズや社会的要請を踏まえ、地域との連携・協働により運営します。
- カ アンケートや運営委員会等様々な場面で、ニーズを把握し運営に反映します。
- キ 適切な情報公開及び多様な媒体・地域の協力により積極的な広報に努めます。
- ク 日常的にこまめな点検を行い、早期発見・対応により施設の長寿命化を図ります。

ケ 地方公共団体の施設として公益性・健全性・透明性を確保します。

コ 温室効果ガスの削減や市内中小企業への優先発注など市の施策に協力します。

2 平成28年度の施設の運營業務について

- (ア) 利用者へのサービスの提供
- (イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方
- (ウ) 利用者会議の開催の考え方

(ア) サービスの提供

利用者に快適で楽しく、安全にログハウスを利用していただくために、次のサービス向上に向けた取組を充実します。

- ①清潔で安全・安心な空間の提供を行い、常に清潔で安全な施設を保ちます。
- ②明るく優しく親切な対応を心がけ、接遇の向上を図ります。おもてなしの心を大切にします。
- ③遊具や図書、備品等の充実を望む利用者の声に対応します。安全性や適応性に配慮しながら、予算の許す限り充実します
- ④館内秩序の維持・事故防止では、子ども達を優しく見守る一方、適宜適切に利用方法についての指導をし、誰もが楽しく過ごせる環境を整えます。また、保護者に対しても利用ルールを丁寧に説明し、安全で秩序ある運営に協力して頂き、事故を未然に防止します。
- ⑤SNSを活用して時宜に適った話題の提供などができるように検討します。
- ⑥普通救急救命講習に加え、別途子どもを救助するための救急講習を消防署に願って実施します。AEDの取り扱いについては全スタッフの対応が可能です。
- ⑦館内外の表示・装飾の工夫をします。利用者に温かさや親しみを感じて頂けるように、館内外の表示や装飾を工夫します。花壇の植栽管理も行い、快適で季節感のある環境を提供します。

(イ) ニーズの把握

① 地域ニーズの把握

連合町内会役員や近隣各小学校の校外委員で構成されたログハウス委員会で地域の意見や要望を把握します。また、館長が毎月定例の連合町内会常任理事会や地域の祭などに積極的に参加し、意見や要望の把握やPRに努めます。

② 利用者ニーズの把握

日頃から利用者との会話の中から、意見や要望を聞き取るようにしています。加えて、受付窓口に「感想箱」を設置し要望等を把握します。すべてに対し回答或いは対応内容を記入し、受付で常に閲覧できるように配置していきます。

また、利用者アンケートや自主事業開催時アンケートの結果を運営に反映させるとともに、

アンケートに対する回答や改善策を館内に掲示します。

③ ニーズの運営への反映

平日の午前中は、保護者と乳幼児向けにおはなし会や親子体操などの自主事業を実施し、乳幼児や保護者同士が交流できる場とします。

また、地域の老人会等と連携した「昔遊び」などの事業を実施し、世代間交流や集団遊びの楽しさを体験してもらいます。

(ウ) 利用者会議の考え方

利用者会議はありませんが、ログハウス委員会を年3回開き地域の声の吸収反映に努めます。

3 平成28年度の施設の経営について

(ア) 利用者数の目標

(イ) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等）の計画

(ウ) 管理経費の節減計画

(ア) 利用者数の目標、利用料金収入の計画

年間40,000人（月3,300人）の利用者を目標とします。放課後や土曜・日曜に比較して、平日の午前は利用者が少ない状況です。午前・午後の割合は、各々45%・55%です。なお、午前は乳幼児と保護者の一緒の利用が多く、実際の乳幼児の利用数はその半分程度と認識しています。このような中、今後、より多くの方に利用して頂くために次の取組を充実します。

- ① ニーズや社会的要請に即した事業の展開（ア、子育て支援事業の充実 イ、集団体験の場・放課後の居場所づくり ウ、伝統行事・昔遊びの体験）
- ② 楽しく安全に過ごせる環境の創出（利用者が楽しい時間を共有でき、再度訪れたいと感じるような接遇を心掛けます。常に明るく清潔な館内環境の維持や、遊具の安全管理をします）
- ③ 地域の教育機関や各種団体等と連携強化（地域の様々なリソースを活用して魅力ある事業を展開します）
- ④ PR・広報の充実（ログハウスの存在や事業内容を広く周知するために、「ニャンぱく岩だより」を発行します。更に、HP、子育て雑誌、ネット新聞、ラジオなど様々な情報媒体を通じて広報を行うとともに、SNSの活用も検討します。）

(イ) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等）の計画

来館利用者の少ない平日の午前中に印刷機を地域へ解放し、利用していただくことで印刷機収入を計画します。また、寄付金や助成金を活用した事業収入を計画します。

(ウ) 管理経費の節減計画

- ・管理費に関わる委託契約については、競争性を高めるとともに、複数年契約など経費の削減を図ります。
- ・自主事業の材料はできるだけ廃品活用を心がけます。現在も文具は最後まで使い切るなど、少ない予算を効率的に執行しています。
- ・コピー機は使用時のみ電源を入れます。
- ・ファックス用紙は不要になったコピー用紙を使用しません。
- ・来館者に呼びかけ館内のゴミの発生を最小限にとどめます。

事業計画書様式 2-5

4 平成28年度の事業の実施について

(ア) 自主事業の基本的な考え方

(イ) 自主事業別計画 (様式3, 4に記載してください。)

(ウ) その他の事業の実施

(ア) 自主事業の基本的な考え方

子どもたちが自分で考え、創意・工夫を加味しながらの遊びは、それが主体的な行動である限り極めて魅力的だといえます。また、仲間との遊びを通して、いろいろな感情や意欲、判断力、認識力の育ちも期待することができ、遊びは子どもたちの人格形成に大きな影響を与えているといえます。一方で、平日の午前中や週末などの時間帯には、乳幼児をつれた若い父母の姿も増えてきました。そこで自主事業の基本的な考えとして、乳幼児から青年期前期の中学生までの年齢層に偏らない自主事業を展開します。また、子育て中の父母には「子育て支援」の自主事業を行い「交流の場づくり」も行います。

(a) ニーズや社会的要請に即した事業の展開として

- ①子育て支援事業 (おはなし会、親子体操、ママとベビーのお絵かき教室、世界のおもちゃで遊ぼう など)
- ②集団体験の場や放課後の居場所事業として (スタッフと一緒にの工作教室、こども造形教室、夏休みおはなし会、中学生と一緒にの工作教室 など)
- ③伝統行事を体験する事業 (子どもの日イベント、七夕まつり、正月の昔遊びなど) 伝統行事の体験事業では地域の青少年指導員や老人会から協力をいただきます
- ④その他、毎年子どもたちが楽しみにしている「クリスマス会」を開催します。また、万が一の災害時に備えて、開館時間中を利用し、来館者とスタッフが協力して「災害時避難訓練」を行います。

(b) 自主事業の終了時にはアンケートを取り、事業の内容や感想、要望など参加者のニーズの把握に努め、魅力ある事業提供に努めます。

(イ) 自主事業別計画

別紙記載

(ウ) その他の事業の実施

地域の様々なリソースを活用して魅力ある事業を展開します。具体的には、地元町内会の皆さんや中学生ボランティアの皆さんの協力をいただき、世代間の交流を通して、こどもの遊びに広がりをもたせ、仲間意識を深める事業を提供します (上記②、③)。地域との連携では、「踊場地区文化まつり」への出張工作参加。「子育て相談の日」(北汲沢地区連合町内会と踊場地区連合町内会の両連合町内会との連携) をログハウスで開く (毎月1回) などです。

事業計画書様式 2 - 6

5 平成28年度の施設の運営体制等について

(ア) 職員の配置計画

(イ) 緊急時の連絡体制

(ア) 職員の配置計画

① 組織体制

館長1名に加えスタッフ10名を雇用し、全11人体制とします。ローテーションにより、常時スタッフ2名を配置します。また、原則として週2日、半日単位で館長が勤務しますが必要に応じ柔軟に対応します。繁忙時や自主事業実施時には、柔軟なシフトにより、必要な人員を確保します。通常時は、スタッフ2名で見守り範囲を分担し全館を目配りできるようにします。なお、引継ノートにより館長・スタッフ全員の情報の共有化を図ります。

	勤 務 日	勤 務 時 間 帯	一日の勤務時間	人数
館 長	原則週2日	原則として 9:00~13:00 或いは13:00~17:00	原則として 4時間	—
スタッフ	全開館日 (ローテーション)	9:00~13:00	4時間	2名
		13:00~17:00	4時間	2名

②雇用形態・業務内容

	雇 用 形 態	業 務 内 容
館 長	常勤 週5日勤務 月給制 東汲沢小コミュニティハウス館長兼務	施設管理運営の統括 スタッフへの指導・助言 地域の団体・機関等との連携
スタッフ	非常勤 週3日又は4日勤務 時給制	受付・事故災害対応/遊びの見守り・助言/館内外・遊具の日常清掃・点検/広報・苦情への回答作成/自主事業の企画・実施/経理・庶務等の運営補助 等

(イ) 緊急時の連絡体制

- ・館長連絡先や協会事務局、区役所、医療機関、警察、消防、警備会社、土木事務所等の連絡先を電話機前に貼り付け緊急連絡体制がスムーズに運ぶようにします。
- ・館長不在時には第一報を協会事務局に報告して指示を仰ぎ、意思決定に手間取らないようにします。

平成28年度踊場公園こどもログハウス自主事業計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
子育て支援	おはなし会(年間10回) 4, 3月は休み 第2火曜日	幼児と保護者 特に定めず 0円	¥15,000	¥15,000	¥0	¥15,000	¥0
	親子体操 5月、7月、9月、11月 4回	幼児と保護者 48組 0円	¥20,000	¥20,000	¥0	¥20,000	¥0
	子育て相談の日 4月～3月 (8月除く)毎月1回	幼児と保護者 特に定めず 0円	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	ママとベビーのお絵かき教室 6月、11月、1月 3回	幼児と保護者 30組 0円	¥14,000	¥14,000	¥0	¥12,000	¥2,000
	新規)世界のおもちゃで遊ぼう 9月 1回	利用者 特に定めず 0円	¥10,000	¥10,000	¥0	¥8,000	¥2,000
季節の行事	子どもの日イベント 5月 1回	利用者 特に定めず 0円	¥10,000	¥10,000	¥0	¥5,000	¥5,000
	たなばた祭り 7月 1回	利用者 特に定めず 0円	¥4,000	¥4,000	¥0	¥0	¥4,000
	正月の壁面飾りづくり 11月 1回	利用者 40名 0円	¥3,000	¥3,000	¥0	¥0	¥3,000
	正月イベント:昔の遊び 1月 1回	利用者 100名 0円	¥10,000	¥10,000	¥0	¥5,000	¥5,000
	おひな様の壁面飾りづくり 2月 1回	利用者 特に定めず 0円	¥3,000	¥3,000	¥0	¥0	¥3,000
放課後の遊び	ファミリーデー工作 6月 1回	利用者 80人 0円	¥4,000	¥4,000	¥0	¥0	¥4,000
	(新規)夏やすみおはなし会 7月 1回	利用者 特に定めず 0円	¥5,000	¥5,000	¥0	¥5,000	¥0
	夏休みイベント(中学生と) 8月 1回	利用者 100名 0円	¥12,000	¥12,000	¥0	¥6,000	¥6,000
	(新規)こども造形教室 9月、2月 2回	利用者 40名 0円	¥22,000	¥22,000	¥0	¥10,000	¥12,000

	秋の工作	利用者	¥4,000	¥4,000	¥0	¥0	¥4,000	
	10月	50名						
	1回	0円						
	春休み工作	利用者	¥4,000	¥4,000	¥0	¥0	¥4,000	
	3月	100名						
	1回	0円						
その他	(新規)ログハウス避難訓練	利用者						
	9月	特に定めず	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	1回	0円						
	踊場地区文化祭り参加	利用者						
	11月	60名	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
	1回	0円						
	クリスマス会	利用者	¥20,000	¥20,000	¥0	¥10,000	¥10,000	
	12月	100名						
		0円						
合 計			¥160,000	¥160,000	¥0	¥96,000	¥64,000	¥0

事業ごとに別紙に記載してください。

踊場公園こどもログハウス自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会 (子育て支援) (読書活動推進)	(目的) ・スタッフやに地域ボランティアによる手遊び、読み聞かせを通して物語のおもしろさを体験する。 ・若いお母さんどうしの交流の場とする。 (内容) ・0歳～未就学児童対象。親子参加。 ・毎月第2火曜日 午前11:00から20分程度 ・手遊び、絵本の読み聞かせ、体を使った遊び	毎月第2火曜日 年間10回
子育て相談の日 (子育て支援) (地域協力)	(目的) ・地域の子育て支援ボランティアグループ(北汲沢地区連合町内会と踊場地区連合町内会の2連合町内会)と連携して、気軽に子育て相談を行う場とする。 ・若いお母さんどうしの交流の場とする。 (内容) ・0歳～未就学児童対象。親子参加。 ・毎月第4月曜日 午前11:00から20分程度	毎月1回 (第4月曜日) (8月除く) 年間 11回
親子体操 (子育て支援)	(目的) ・親子で体を動かして楽しく遊んだり、リズム体操をすることで親子のスキンシップを図る。 ・若いお母さんどうしの交流の場とする。 (内容) ・親子で体操を行い楽しく遊ぶ 昨年度好評な事業だったため、回数を増やして実施 ・講師は戸塚スポーツセンターで活躍中の講師に依頼。	5、7、9月、11月 各1回ずつ
ママとベビーのお絵かき教室 (子育て支援)	(目的) ・家庭で乳幼児が初めて描く「絵」に接し、その絵の感想や描き方の対応などで、戸惑いの声が聞こえてくるため、絵の専門講師から母親の疑問に答えてもらう。 (内容) ・乳幼児が自由にクレヨンなどを使い絵を描き、その後描いた絵の見方を参加者は一緒に学ぶ	6月、11月、1月 各1回ずつ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(新規) 世界のおもちゃで遊ぼう (子育て支援)	(目的) ・良質なおもちゃの提案や貸し出しを行っている 「東京おもちゃ美術館」から優れた世界のおもちゃを貸し出してもらい、ログハウスの中で自由に遊び、来館者はおもちゃの楽しさを共感する。普段、購入できない優れたおもちゃで遊ぶ体験ができる。 (内容) ・ログハウスで平日の半日を「世界のおもちゃの日」として来館者が自由に世界のおもちゃで遊ぶ	9月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもの日 イベント (青少年指導員の協力) (季節の行事)	(目的) ・青少年指導員の方やスタッフと一緒に、作って遊ぶ工作の楽しさを体験する (内容) 午前10時～12時 ・自分で考えながら自分が気に入ったおもちゃを作る。 ・作ったおもちゃを使って遊ぶ	5月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕祭り (季節の行事)	(目的) ・館内2階に届く大きな笹に願い事を掛けたり、折り紙で飾りを作り、昔からの伝統的な七夕行事を体験する。 ・一人ひとりの短冊が大きな七夕飾りとなり共同力を実感できる。 (内容) ・短冊に願い事を書く。 ・折り紙を使って天の川や奴さん、ちょうちん等を作る。	6月末～7月7日 約10日間
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
季節の壁面飾り工作 (季節の行事)	(目的) ・正月やひな祭りの壁面飾りを利用者とスタッフが一緒に作成しログハウスの前掲示板や室内壁面へ飾ることで、ログハウスへの愛着の気持ちを育てる (内容) ・折り紙、画用紙などを使って季節行事のテーマに沿った大きな壁面飾りをみんなで協力して作る。	11月・2月 各2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
正月イベント (地域老人会の協力) (季節の行事)	(目的) ・地域の老人会やスタッフから昔の遊びを覚えてもらうことにより、自分の遊びをさらに広げる。 ・遊びの教示を受けることにより、地域の一員であることを自覚する。 (内容) ・未定(地域と相談) ・今年度は北汲沢地区連合町内会の方の協力をお願いする。	1月中旬 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ファミリーディ工作 (放課後の遊び)	(目的) ・毎年実施していた5月と6月の母の日と父の日工作を、「6月の工作、ファミリーディ」としてログハウスで手作りプレゼントを作り、大切な人に感謝の気持ちを伝える。 (内容) ・ファミリーディの贈り物にふさわしい作品を作る。 ・感謝の気持ちの手紙を添える。	6月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(新規) 夏休みおはなし会 (放課後の遊び)	(目的) ・夏休みの小学生向けおはなし会。夏休み中の読書活動へきっかけ作り。楽しい紙芝居や絵本の読み聞かせを聞くことで、絵本の楽しさに触れる。 (内容) ・絵本作家から、自作の紙芝居を子どもに語ってもらう ・紙芝居の後では、絵本の読み聞かせを聞く	7月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みイベント 中学生ボランティア (放課後の遊び)	(目的) ・中学生ボランティアから、不用品に手を加えて自分のおもちゃを新たに作ることの楽しさを学ぶ。 ・中学生ボランティアと一緒に作ったおもちゃを使って遊ぶことを通して、異年齢交流の関わりを広げる (内容) ・中学生の説明を聞きながらおもちゃを作る。 ・できたおもちゃで遊んだり、大会を開いたりする。 ・戸塚中学校、汲沢中学校ボランティアグループとの連携	8月 2回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(新規) こども造形教室 (放課後の遊び)	(目的) ・自分で作る遊びが少なくなっている現代の小学生へ「作って楽しむ」事を再発見してもらう造形教室です。おもちゃコンサルタントの講師に「つくる」「あそぶ」「かざる」をコンセプトにしたおもちゃを指導していただき実際に作ります 想像力・表現力・自発性を伸ばし美的感性や自信を育てます (内容) ・年2回の造形教室。講師の準備した工作テーマに沿って自由に想像力を働かせたおもちゃを作り参加した子どもどうしで作ったおもちゃで遊びます。	9月、2月 各1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
放課後の工作 (秋の工作) (春の工作) (放課後の遊び)	(目的) ・10月と3月に行う工作遊び。ログハウスのスタッフが内容を吟味し来館の子どもが楽しく誰でも簡単にできる工作を行う。 (内容) ・スタッフと交流しながら工作するので、子どもたちに人気のイベントです (内容) ・工作物は未定 ・スタッフの説明を聞きながらおもちゃを作って遊ぶ。	10月、3月 各1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
(新規) ログハウス 避難訓練	(目的) ログハウス開館中に起こるかもしれない地震や火災に備え来館者とスタッフが避難訓練を実際に経験し、いざという時に来館者を安全に避難誘導ができるようにする (内容) 今年度は、平日の午前中に災害が起こった時を想定し、ログハウスの避難誘導マニュアルに沿って来館者とスタッフが実際に避難訓練を行う	9月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
踊場文化まつり (出張工作)	(目的) ・地域の文化活動発表の場に出かけ、出張工作を行うことによって、地域との連携を深める (内容) ・未定	11月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス会	(目的) ・サンタさんや友達といっしょにクリスマスイベントを通して楽しく時を過ごす。 (内容) ・今年度は小学校低学年向けプログラムとして、マジックグループに実演してもらう。 ・プログラムの中へに歌やゲームも取り入れ、最後にサンタクローズから子どもたちへクリスマスプレゼントをする。	12月 1回

平成 28 年度第三者委託内容一覧

施設名 横浜市踊場公園こどもログハウス

NO	委託期間	委託内容	金額	業者名
	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	消火器点検	¥4, 000	(株)東晃防災
	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	害虫駆除	¥33, 000	(株)三共消毒
	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	清掃	¥250, 000	(株)横浜セイビ
	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	機械警備	¥120, 000	セコム(株)
	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	損害賠償責任保険	¥3, 000	(株)コンチネンタル
	H28. 4. 1 ~ H29. 3. 31	電気設備点検	¥33, 000	(株)市川総業

平成28年度 「跡場公園こどもログハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	7,940,000		7,940,000		7,940,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	130,000	0	130,000	0	130,000	
印刷代	20,000		20,000		20,000	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他 (預金利子、図書カード等)	110,000		110,000		110,000	補助金等含む
収入合計	8,070,000	0	8,070,000	0	8,070,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	6,133,000	0	6,133,000	0	6,133,000	
給与・賃金	6,111,000		6,111,000		6,111,000	
社会保険料	13,000		13,000		13,000	
通勤手当	9,000		9,000		9,000	
健康診断費	0		0		0	法人会計に計上
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	法人会計に計上
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	411,000	0	411,000	0	411,000	
旅費	12,000		12,000		12,000	
消耗品費	150,000		150,000		150,000	
会議賄い費	2,000		2,000		2,000	
印刷製本費	2,000		2,000		2,000	
通信費	100,000		100,000		100,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	40,000		40,000		40,000	
図書購入費	30,000		30,000		30,000	
施設賠償責任保険	3,000		3,000		3,000	
職員等研修費	1,000		1,000		1,000	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	70,000		70,000		70,000	コピー機、印刷機、AED等
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	法人会計に計上
事業費	160,000	0	160,000	0	160,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	160,000		160,000		160,000	
自主事業費	0		0		0	
管理費	573,000	0	573,000	0	573,000	
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金	0		0		0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	250,000		250,000		250,000	
修繕費	76,000		76,000		76,000	
機械整備費	120,000		120,000		120,000	
設備保全費	127,000	0	127,000	0	127,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	4,000		4,000		4,000	
電気設備保守	33,000		33,000		33,000	
害虫駆除清掃保守	33,000		33,000		33,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	57,000		57,000		57,000	
共益費	0		0		0	
公租公課	322,000	0	322,000	0	322,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	321,000		321,000		321,000	
印紙税	0		0		0	
その他 (法人税)	1,000		1,000		1,000	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	471,000	0	471,000	0	471,000	
本部分	459,000		459,000		459,000	労務、会計、契約、人事等の管理運営費用
当該施設分	12,000		12,000		12,000	諸費
二一ズ対応費	0		0		0	
支出合計	8,070,000	0	8,070,000	0	8,070,000	
繰上	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		